

「平成21年1月期 第1四半期財務・業績の概況」のご説明

平成20年6月10日 丸善株式会社

【概況】業界環境の厳しい店舗事業で前年をクリア。教育・学術事業も主要商品で売上伸長。

平成21年1月期第1四半期の当社業績(連結)は、売上は32,528百万円で、期初計画(予算)の100.7%となり順調に推移しました。また、あわせて経費削減に努め、経常利益は1,268百万円・対予算134%となり、当四半期は順調な業績となりました。事業部門別業績の概要は以下のとおりです。

・**教育・学術事業**:教科書を中心とする和書が売上対前102%、外国雑誌・同106%、図書館業務のアウトソーシング受託などのソリューション系売上が同113%など計画通り売上を伸ばし、**事業全体の売上は対予算100.5%と、ほぼ期初計画を上回った。**

・**店舗事業**:書店業界全体では厳しい環境にありながら、当社では丸の内本店が売上対前102%、ラゾーナ川崎店・同130%など、**大型基幹店舗の多くが前年売上をクリアし、店舗事業全体の売上は対予算においても100.4%と、計画を上回る順調な業績となった。**

・**出版事業**:編集プロセスの見直しと企画の精選が順調に進み、新刊が計画通り刊行され、返品もほぼ見込どおりであったことから、**当事業の売上は対予算で108.8%と堅調な業績となった。**

・**店舗内装事業等**:顧客の出店計画の見直しなどから売上は対予算83.7%となり、また原材料費の高騰が粗利益にも影響したことから、**当事業の業績は厳しい結果となった。**

なお、〔表①〕〔表②〕のとおり、当平成21年1月期の中間期及び通期の業績予想は、消費者物価指数の上昇等、市場環境に不透明感のあることから、本年3月21日発表の予想値から変更しておりません。

【参考】前年度の特殊要件から前年比ではダウンも、一昨年からは増収増益

前年度平成20年1月期の第1四半期は、設備・工事関連で大型物件が集中したことから例年より売上収益が増加しており、当第1四半期の業績は、前年比較ではダウンとなっております。しかし、一昨年(平成19年1月期)同期比では、当第1四半期は売上101.8%、営業利益105.6%となっており、計画どおりの順調な業績となっております。〔表③〕

弊社では、経営方針に基づき、知的資本の強化を推進し、今後とも本年3月21日発表の「中期事業計画200」の達成に取り組んでまいりますので、今後ともお引き立て、ご高配のほどお願い申し上げます。

〔表①〕

平成21年1月期 中間期予想

	H20.3予想	今回予想	差異
売上	52,500	<u>52,500</u>	0
営業利益	210	<u>210</u>	0
経常利益	60	<u>60</u>	0
当期純利益	30	<u>30</u>	0

〔表②〕

(単位:百万円)

平成21年1月期 通期予想

	H20.3予想	今回予想	差異
売上	105,000	<u>105,000</u>	0
営業利益	620	<u>620</u>	0
経常利益	170	<u>170</u>	0
当期純利益	90	<u>90</u>	0

〔表③〕

第1四半期実績比較

	H19.1月期		H20.1月期		H21.1月期		
	実績		実績	対前比	実績	対前比	同対H.19
売上	31,967		34,604	108.2%	32,528	94.0%	101.8%
営業利益	1,162		1,461	125.7%	1,227	84.0%	105.6%
経常利益	1,219		1,635	134.1%	1,268	77.6%	104.0%
四半期純利益	1,271		1,619	127.4%	1,255	77.5%	98.7%

本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。